

## 平成30年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

### I 委託事業の内容

#### 1. 研究開発課題名

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～

#### 2. 研究の目的

本事業は、将来の農業及び農業関連産業に従事するプロフェッショナルを育成することによって、地方創生の一翼を担う人材を育成する。そのために、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身につけるための具体的な手立てを研究する。あわせて、都市部と農村部をつなぎ、それぞれの地域の活性化につながる農業人材育成を目指す。

#### 3. 実施期間

契約日から平成31年3月15日まで

※ 最長で当該年度の3月15日（3月15日が行政機関の休日に当たる場合は直前の開庁日）まで

#### 4. 当該年度における実施計画

平成26年度からの4年間は九州大学をはじめ農業研究機関、農業関連企業や農業生産法人、さらには先進的に農業経営を行っている農家等との連携を図りながら、都市園芸に関する専門的な知識を身につけたアグリスペシャリストの育成を行った。

平成30年度については、事業目標や目的等を明確に示した5年間のロードマップをもとに、各学年での実施計画及び目指す生徒像のモデルケースを明確にし、本科及び専攻科でのプラクティカルトレーニング、評価基準、都市園芸科と専攻科との取組などについて以下のとおり研究を進める。

##### (1) 研究5年目のプログラムの実践

本事業の対象学年である専攻科2年生と本科での事業内容及び評価内容の検証を中心に研究プログラム（ロードマップ：基本研修：1年生、実践的研修：2・3年生、発展的研修：専攻科1・2年生）を実践する。さらに、ホームページを活用し、研究成果など常に新しい情報を発信して本科と専攻科の魅力伝える。

第1学年では、都市型農業に必要な知識・技術及び地域の農業の現状を把握することや産業としての農業の魅力や農業の担い手への興味・関心を喚起するとともに、農業の法人化についての研修や6次産業化についての研修を実施する。

第2学年では、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成及びさらなる職業人として必要なコミュニケーション能力等を身につけるため、プラクティカルトレーニングを全員に実施する。具体的には農家、農業生産法人及び農業関連の事業所でのトレーニングを農業経営の視点を踏まえて、夏と冬の2回実施する。また、長崎県立諫早農業高等学校を訪問し交流活動を

行い、専門教育の違いについて理解を深める。

第3学年では、都市型農業の経営感覚を身につけるとともに、6次産業化を推進できる知識や技術を習得させるため、LED照明装置を活用した植物工場における様々な野菜栽培及び経営についての実践的な学習を行う。加えて、GAP教育についての研修（GAPを推進している宮崎県立高鍋農業高等学校との交流など）を行い、農業の経営感覚を身につける。また、社会人講師による起業についての講義や、農業法人設立の疑似体験をとおして、農業経営学及び農業を取り巻く社会情勢についても理解を深める。さらに、学校設定科目の教育内容等により、食の6次産業化プロデューサー（以下、食プロ）レベル2の取得に向けて学習する。

専攻科では、地域で活躍する農業及び農業関連産業のプロフェッショナル人材の育成のため、九州大学をはじめとする研究機関とさらに連携を深め、卒業研究についての共同研究を通して学習内容のレベルアップを図るとともに、次年度の学会等において研究の成果を発表する。また、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成をねらいとして、当該年度もプラクティカルトレーニングを1年生全員に実施する。評価基準については、これまでのものに修正を加え学生が客観的に自己評価できるルーブリックを完成させるとともに、教員側の評価指標も完成させ、見取っていく。資格取得については、特別講義による食プロレベル1・2の全員取得に加え、毒物劇物取扱資格、YCT検定1・2級や実用英語検定2級などの資格取得についても積極的に取り組む。

5年次では海外農業研修を実施し、アジアの農業・食品や農産物流通について学ぶ機会を設ける。また、そのための海外農業研修プログラムを開発する。

#### (2) 経営感覚を身につけた人材の育成に向けたプログラムの実践

社会人基礎力と経営感覚を身につけた人材の育成を目指し、4年次に修正したキャリアデザインノートをフル活用する。生徒版は、学年の発達段階に応じて、社会人基礎力をはじめ、「福岡農業が考える専門力（経営感覚）」を用いて、生徒が客観的に自己評価できるようにする。教師版では、生徒版の内容と連動しながら、生徒一人一人の資質・能力を高めるための評価指標を設定し、その達成に向け、研究プログラムを実施し、効果的なキャリアデザインノートの活用法を検証する。また、その成果を他校へ公開する。

また、本科と専攻科の学習活動を通じて具体的な人物像（職業人）を挙げ、どの科目を学べば自身の目指す姿につながるかを示すモデルケースを提示する。

#### (3) 関係機関との連携強化

関係機関との連携では、プラクティカルトレーニング及び視察研修や社会人講師による特別講義などの事業の有効性について外部評価及び助言をいただくとともに、生徒・学生の進路実現に繋がるよう連携のさらなる強化を図る。

また、県内の農業高校との連携において、合同販売会等を運営・実施することにより、他校の生徒をとおして本研究の成果を普及させる。

#### (4) アグリスペシャリストを育成するための教育課程の検討

都市型農業における専門的な技術と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成のために、都市園芸科と専攻科の5年間の継続したカリキュラムの完成を目指す。現在、食プロが学べる学校設定科目の「食農マネジメントI」とGAPを中心に学ぶ「生産工程管理」を導入し、進めている。また、学校設定科目の内容を専攻科でも継続して学べるようにするため、「アグリマネジメント」と「グリーンツーリズム論」を平成29年度から導入した。しかし、授業内容や時制の課題があり、調整の難しさを感じている。5年次ではカリキュラムの見直しを行うとともに、筋道が見えるような5年間の継続カリキュラムを設定する。

(5) 評価方法

ア 定性的評価

本事業の到達目標及び各プログラムで設定した目標に対して、生徒・学生がどのように成長したかを評価する観点と評価基準の設定について、運営指導委員を中心とした有識者の助言を得て研究を進め、評価指標による客観的な評価を図っていく。その際、自己評価、意識調査、感想などから身についた力の見える化を図り、生徒・学生がどのように変容したときに目標を達成できたかを見取っていく。

イ 定量的評価

生徒・学生の「スキルアップ」「達成感」や「満足度」とともに、地域農業で活躍できる人材としての資質能力が身についたか否かを評価する。その際、生徒による自己評価だけでなく、定性目標に合わせて教員による評価基準を設定し、客観的に評価する。また、生徒・学生の進路分析など完了評価とともに、プロセス評価を実施し、一定レベルのスキルを見取っていく。さらに、高度な資格の取得率を評価指標とする。

(6) 実施計画

都市園芸科1年	基本研修 【マネジメント学習】農業法人視察（農事組合法人 大木しめじセンター） 6次産業化研修（農産物直売所よらんの） 【スキルアップ学習】社会人特別講師招聘「地域農業と経営について」 日本農業技術検定3級取得
都市園芸科2年	実践的研修 【フロンティア学習】専攻科との連携（講義・実習の受講） 専攻科の卒業研究発表会見学 【マネジメント学習】夏・冬季休業中のプラクティカルトレーニングの実施及び報告会の実施 GAP研修（GAP・農業の収支決算擬似体験） 農業高校生との交流（長崎県立諫早農業高校） 6次産業化研修（大地のめぐみ） 【スキルアップ学習】社会人特別講師招聘「企業の求める人材」 学校設定科目「生産工程管理」によるGAPの学習 学校設定科目「食農マネジメントⅠ」による食プロレベル1の取得
都市園芸科3年	実践的研修 【フロンティア学習】LED栽培装置による植物の栽培実験 【マネジメント学習】農業高校生との交流（宮崎県立高鍋農業高等学校寮宿泊） *都市園芸科1・2年・他学科を含む希望者10名程度 【スキルアップ学習】社会人特別講師招聘「起業方法について」「農業法人設立の擬似体験」 学校設定科目「食農マネジメントⅡ」の学習による食プロレベル2の取得に向けての学習 フラワー装飾技能士3級取得（希望者）

専攻科1年	発展的研修（アグリスペシャリストを目指して自主的に実践する実習） 【フロンティア学習】都市園芸科2年生への学習指導（ティーチング・アシスタント） 卒業研究発表会（発表補助） 【マネジメント学習】プラクティカルトレーニングの実施及び報告会の実施 先進農家研修及び農業体験（JR九州ファーム、北部農園） 企業視察研修（福岡中央卸売市場） オイスカ西日本との交流（アジアの農業） 海外農業研修（台湾） 【スキルアップ学習】食プロレベル1及び2取得、日本農業技術検定2級取得 毒劇物取扱責任者取得（希望者）、YCT検定（希望）
専攻科2年	発展的研修（アグリスペシャリストを目指して自主的に実践する実習） 【フロンティア学習】都市園芸科2年生への学習指導（ティーチング・アシスタント） 九州大学と連携した卒業研究 卒業研究発表会 【マネジメント学習】先進農家研修及び農業体験（JR九州ファーム、北部農園：希望者） 海外農業研修（台湾） 【スキルアップ学習】毒劇物取扱責任者取得（希望者）
共通	○「経営感覚を身につけた人材」評価指標作成、プラクティカルトレーニング評価基準作成 ○年2回の運営指導委員会を開催する。 ○キャリアデザインノートの活用 ○月1回の研究推進委員会を開催する。 ○農業高校との合同販売会の実施 ○ホームページを活用した活動報告（随時） ○研究成果報告会の実施 ○アンケート調査、進路分析

## 5. 実施体制

### (1) 運営指導委員

氏名	所属	役職
岡本 正宏	九州大学大学院農学研究院	総長特別顧問
比良松 道一	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター	准教授
福島 裕助	福岡県農業大学校	教務部長
前田 陽一	福岡県農林水産部 経営技術支援課 後継人材育成室	企画主幹
井手 正宏	農業組合法人 豊地の郷	組合長
井上 淳一	J A筑紫	企画管理部 部長
樋口 勤	なし	元博多さんか園店長
廣石 政彦	株式会社 久原本家 購買部購買課	課長
佐藤 法孝	福岡県教育センター 産業・情報教育部産業教育班	指導主事
田中 直喜	福岡県教育庁教育振興部高校教育課	課長

(2) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
鬼木 清	主幹教諭	企画及び総務、工程管理（本科及び専攻科）・蔬菜園芸
白水 康二	教諭	企画及び総務、工程管理（本科）・野菜
亀田 諭	主幹教諭	（フロンティア学習担当）・野菜
岡部 英紀	教諭	（マネジメント学習担当）・草花
中村 哲司	教諭	（マネジメント学習担当）・果樹
末永 楓	教諭	（スキルアップ学習、本科資格取得担当）・草花
合原 竜	実習助手	（スキルアップ学習担当）・野菜
原口 和文	実習助手	（マネジメント学習担当）・草花
稲田 孝信	教諭（専攻科）	（フロンティア学習担当）学校設定科目検討・生物工学
井手 正明	教諭（専攻科）	（スキルアップ学習担当）・フードサイエンス
古賀 正輝	助教諭（専攻科）	（マネジメント学習、会計担当）・花卉園芸
岳 良介	実習助手（専攻科）	（スキルアップ学習、専攻科資格取得担当）・園芸利用
八尋 一成	実習助手（専攻科）	（フロンティア学習担当）・栽培環境

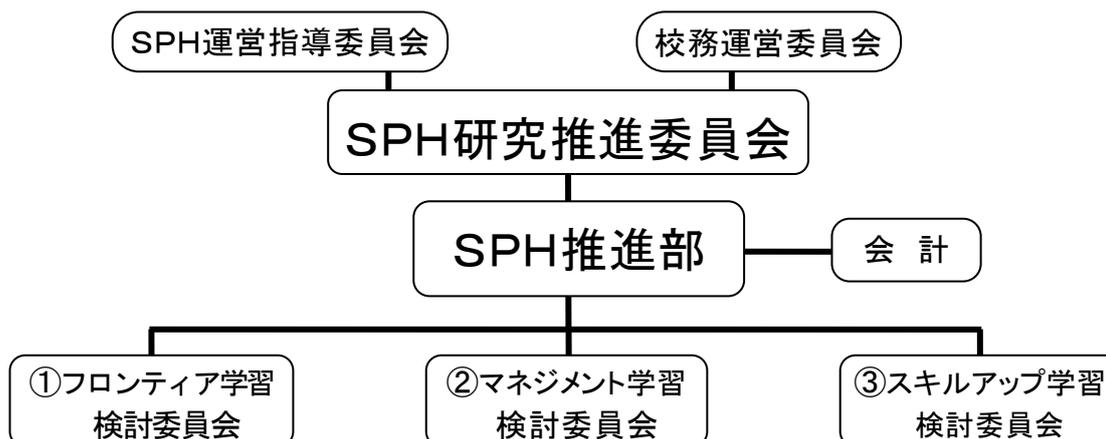
(3) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
森高 政博	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・農業資源経済学
片倉 喜範	九州大学・准教授	研究の評価及び助言・生物機能科学
瀬戸 衛二	(株) 太宰府遊園地・園長	研究の評価及び助言・流通
下川 雄一郎	福岡農業高校・校長	研究の運営
薦田 源一	福岡農業高校・教頭	研究の企画及び運営
重村 郁夫	福岡農業高校・専攻科教頭	研究の企画及び運営（総括）
亀田 諭	福岡農業高校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・野菜
鬼木 清	福岡農業高校・主幹教諭	研究の企画推進及び工程管理・バイオ技術
白水 康二	福岡農業高校・教諭	研究の企画推進及び工程管理・野菜
岡部 英紀	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・草花
中村 哲司	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・果樹
末永 楓	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・草花
稲田 孝信	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・園芸利用
井手 正明	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・フードサイエンス
古賀 正輝	福岡農業高校・助教諭	研究の推進及び工程管理・栽培環境

(4) 校内における体制図

効果的に本事業を推進するために、以下のような委員会を設立し、定期的な委員会を開催する。

- ①SPH運営指導委員会（6月、12月）
- ②SPH研究推進委員会（年2回開催）
- ③SPH推進部（随時）
- ④各種検討委員会（毎月1回開催）



6. 研究内容別実施時期

※都園とは都市園芸科を指し、専攻は専攻科を指す。

月	学年	実施内容
4月	都園1	新入生アンケート調査
	都園2	【スキルアップ学習】・学校設定科目「食農マネジメントⅠ」「生産工程管理」授業開始
	都園3	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始（～1月） 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘①「起業方法について」 ・学校設定科目「食農マネジメントⅡ」授業開始
	専攻2	【フロンティア学習】・九州大学と連携した卒業研究開始
5月	都園3	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘②「農業法人設立の擬似体験」
	全学年：SPH及び学校生活に関する意識調査、キャリアデザインノート配布・活用	
6月	都園1	【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘③「地域農業と経営について」
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅰ「花卉園芸」講義・実験の受講 【スキルアップ学習】・社会人特別講師招聘④「企業の求める人材（プラトレ事前指導）」
	専攻1	【フロンティア学習】・先進農家研修（熊本県 JR九州ファーム、北部農園） ・専攻科特別講義Ⅰ「花卉園芸」指導（ティーチング・アシスタント） 【スキルアップ学習】・食プロレベル1特別講習（全員）
	専攻2	【フロンティア学習】・先進農家研修及び農業体験（熊本県 JR九州ファーム、北部農園） ・専攻科特別講義Ⅰ「花卉園芸」指導（ティーチング・アシスタント）
	第1回運営指導委員会	
7月	都園3	【マネジメント学習】・農業高校生との交流「宮崎県立高鍋農業高校」
	専攻1	【スキルアップ学習】・食プロレベル2特別講習（全員）

8月	都園2	【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻1	【マネジメント学習】・オイスカ西日本との交流 【マネジメント学習】・海外農業研修 【スキルアップ学習】・毒劇物取扱責任者受験（希望者）
	専攻2	【マネジメント学習】・海外農業研修 【スキルアップ学習】・毒劇物取扱責任者受験（希望者）
9月	都園1	【マネジメント学習】・農業生産法人視察研修「大木しめじセンター」 ・6次産業化研修「農産物直売所よらんの」
	専攻1	【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅱ「水耕栽培Ⅰ」講義・実習の受講 【マネジメント学習】・GAP研修「GAP・農業の収支決算擬似体験」
	都園3	【スキルアップ学習】・フラワー装飾技能士3級受験（希望者）
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅱ「水耕栽培Ⅰ」指導（ティーチング・アシスタント）
10月	SPH研究成果発表会 第2回運営指導委員会 全国産業教育フェア山口大会 研究成果発表	
	都園2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅲ「水耕栽培Ⅱ」講義・演習の受講
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅲ「水耕栽培Ⅱ」指導（ティーチング・アシスタント） 【マネジメント学習】・企業視察研修「福岡中央卸売市場」
	専攻2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅲ「水耕栽培Ⅱ」指導（ティーチング・アシスタント）
	11月	都園2
	専攻1	【スキルアップ学習】・YCT検定（希望者） 【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅳ「高速液体クロマトグラフィーによる分析実験」 指導（ティーチング・アシスタント）
	専攻2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅳ「高速液体クロマトグラフィーによる分析実験」 指導（ティーチング・アシスタント）
12月	都園1	【スキルアップ学習】・日本農業技術検定3級受験（全員）
	都園2	【マネジメント学習】・農業高校生との交流「長崎県立諫早農業高等学校」 ・6次産業化研修「大地のめぐみ」 【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅴ「卒業研究発表会」視聴 ・プラクティカルトレーニング事前指導及び実施（全員）
	専攻1	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅴ「卒業研究発表会」発表補助 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング報告書作成 【スキルアップ学習】・日本農業技術検定2級受験（全員）
	専攻2	【フロンティア学習】・専攻科特別講義Ⅴ「卒業研究発表会」発表、運営
	全学年：SPH及び学校生活に関する意識調査	
1月	都園2	【フロンティア学習】・LED栽培装置による栽培実験開始 【マネジメント学習】・プラクティカルトレーニング報告書作成 【スキルアップ学習】・食プロレベル1申請
	都園3	卒業生対象 アンケート調査、進路分析
	専攻2	【スキルアップ学習】・食プロレベル2申請 卒業生対象 アンケート調査、進路分析

2月	年間反省、事業総括
3月	事業報告書発刊、文部科学省へ報告書提出

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし	余白	余白	余白	余白

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

( ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・無

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載